

第13回野口国際ビジネス交流会

物作りは創造の世界

今回は、下町ボブスレーで度々話題に挙がっている細貝社長をお迎えます。物作りは創造の世界！単に決まったものを作るだけではなく、完成型のない答えを求めて日々努力をされています。治しても治してもまた別の病気が現れ、闘い続ける医療の世界も何処か似ているような気がします。共通することは物作りでも医療でも、努力を継続すると、そこに素晴らしい結果が生まれることです。挫折しそうな場面でも努力して前へ進むことを止めなかった細貝社長のお話を聞いてみたいと思います。



細貝 淳一『下町職人、世界を目指す』

下町ボブスレーネットワークプロジェクト推進委員長。(株)マテリアル代表取締役。1966年、東京大田区生まれ。92年に26歳でアルミ販売・加工を得意とする株式会社マテリアルを設立し、上場企業30社を含む約500社と取引する企業にまで成長させる。現在の取引先は、防衛機器・衛星機器・OA機器・カメラ機器・測定機器・自動車機器・通信機器・医療機器など多岐にわたる。2003年と08年に人や街に優しく、技術や経営にも優れた工場を表彰する

「大田区優工場」の認定を受けている。06年には東京都信用金庫協会より「優良企業特別奨励賞」を、10年には東京商工会議所より「勇気ある経営大賞優秀賞」を、11年には東京都より「中小企業ものづくり人材育成大賞（奨励賞）」を受賞している。



佐藤 俊彦『ゲノム薬理学を診療に生かすー抗がん剤の効果と副作用をあらかじめ予想する：テラーメイド治療』

1960年福島県生まれ、福島県立医科大学卒業と同時に、同大学放射線科に入局。日本医科大学第一病院放射線科助手、獨協医科大学放射線科助手、鷺谷病院副院長を経て、97年宇都宮セントラルクリニック（現・医療法人D I C宇都宮セントラルクリニック）を設立、2002年(株)ドクターネットを設立し、08年(医)D I C理事に就任、10年(株)AIM JAPANを設立、特定非営利活動法人国際医療放射線学術交流会理事長就任、11年メディカルリサーチ(株)を設立、(株)共生医学研究所取締役就任。著書は、『がんでは死なない！ボケにもならない！』（メタモル出版）『医療崩壊 回避できず』（デジタルメディスン）『100歳まで現役で生きる人のシンプルな習慣』（幻冬舎）『だから放射線科医はおもしろい！』（現代書林）『福島原発事故「2015年問題」の真実』（現代書林）『超早期乳がん最新治療』（現代書林）。

※講演内容は、変更になる場合があります。

日時

2014年5月27日(火)15:00~18:30

受付 14:30~15:00

講演会 15:05~16:10 細貝 淳一様

16:10~16:20 休憩

16:20~17:00 佐藤 俊彦先生

懇親会 17:30~18:30

場所

一般社団法人野口医学研究所 大会議室

〒105-0001

東京都港区虎ノ門1-22-13 虎ノ門秋山ビル9階

TEL: 03-3501-0130

会費

5,000円 ※先着80名様で締切とさせていただきます。

申込

別紙の返信用紙にてお申し込み下さい。

<http://www.noguchi-net.com/>

主宰

米国財団法人野口医学研究所

参与会会長 安東恭助

